

# ●/▲ 東支店だより7月号

最近暑い日が続きますね。みなさん水分を  
とって、熱中症には充分お気をつけてください。

## JAがおすすめる 標準傷害保険 (安心倶楽部)

骨折

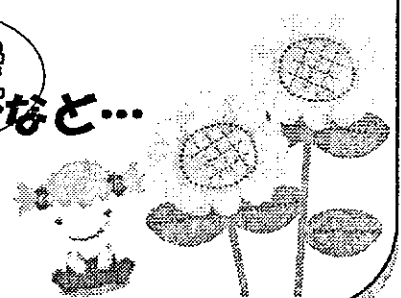
捻挫

打撲

など...

あなたの日常生活をしっかりサポート

詳しくはJA窓口または渉外員にお問い合わせ下さい



## ATM利用休止日時のお知らせ

下記の日程・時間において、ATMの利用が休止となります。

皆様にはご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解いただきますよう  
宜しくお願い申し上げます。

平成28年7月17日(日) 午前8時00分～午前8時45分

## 今後の行事日程

- ・7月16日(土) 女性部 百円市  
JAグリーン元気村前にて 午前8時30分～
- ・7月26日(火) JA加賀年金友の会 介護勉強会  
にこにこランドにて 午後1時30分～
- ・8月10日(水) JA加賀年金友の会 家庭菜園教室  
JA加賀本店3階ホールにて 午後1時30分～

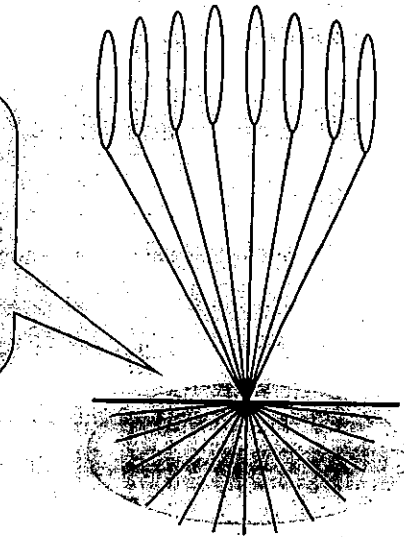
# < 営農からのお知らせ >

## ～うまい・きれいな加賀米づくりに向けて～

### 幼穂形成期以降は飽水管理で根を健全に

収量・外観品質・食味の三拍子揃ったお米を生産するためには、登熟を向上させることが重要です。  
 幼穂形成期以降(コシヒカリ:7月6日以降)は間断通水を実施し、土壌を飽水状態に保って下さい。  
 特に出穂期から7日間程度は稲体の水分蒸散量が最も多くなるので、通水管理を徹底して下さい。

最高分けつ期から幼穂形成期にかけては、最後にたて張りする根が伸びてゆき、発根が最も多くなる時期です。出穂期以降は新根の発生はありません。現在ある根を刈り取り時期まで維持することが、登熟向上、収量・品質の向上に欠かせません。下記の水管理を行い、根欠や萎びを防ぎましょう。



### 水管理のポイント! (飽水管理が基本)

- ① 間断通水を徹底し、根の活力を維持して下さい。
- ② 台風の接近や通過が予想される場合は、フェーンや強風による被害を軽減するため、事前に圃場への入水を行って下さい。(台風の通過後は速やかに排水して下さい)
- ③ 通水は夕方か朝方とし、高温となる日中の湛水は根を痛めるので避けて下さい。
- ④ 集落ぐるみで計画的な水利用に努めて下さい。(溝切りの溝に水を通すなど、効率的な水利用に努めましょう)
- ⑤ 減数分裂期(7/10～7/22頃)に最低気温17℃以下が続くと予想される場合は、出来るかぎり深水管理にして下さい。

### 倒伏軽減剤

倒伏は、品質の低下、収穫のロスを招き生産面では大きなマイナス!!

倒伏が懸念される場合は、最後の手段として倒伏軽減剤の散布を検討する。

薬剤名	散布量(10a)	使用時期	使用回数	散布時の注意事項
スマレクト粒剤	2～3kg	出穂前 15日～10日 (厳守)	1回	○湛水状態で均一に散布する。 ○散布後5日間は、落水やかけ流しはしない。
ビビフル粉剤DL	3～4kg	出穂前 10日～5日	1回	○まきムラ、重複散布をしない。 ○イネの茎葉部に均一に散布する。 ○降雨直後、降雨が予想されるときは控える。

### コシヒカリの倒伏指標

出穂25日前	●主幹上位2葉目(止葉から3葉目)の葉身長が42cm以上の場合
出穂10～15日前	●草丈が90cm以上の場合 ●第5節間が5cm以上の場合